

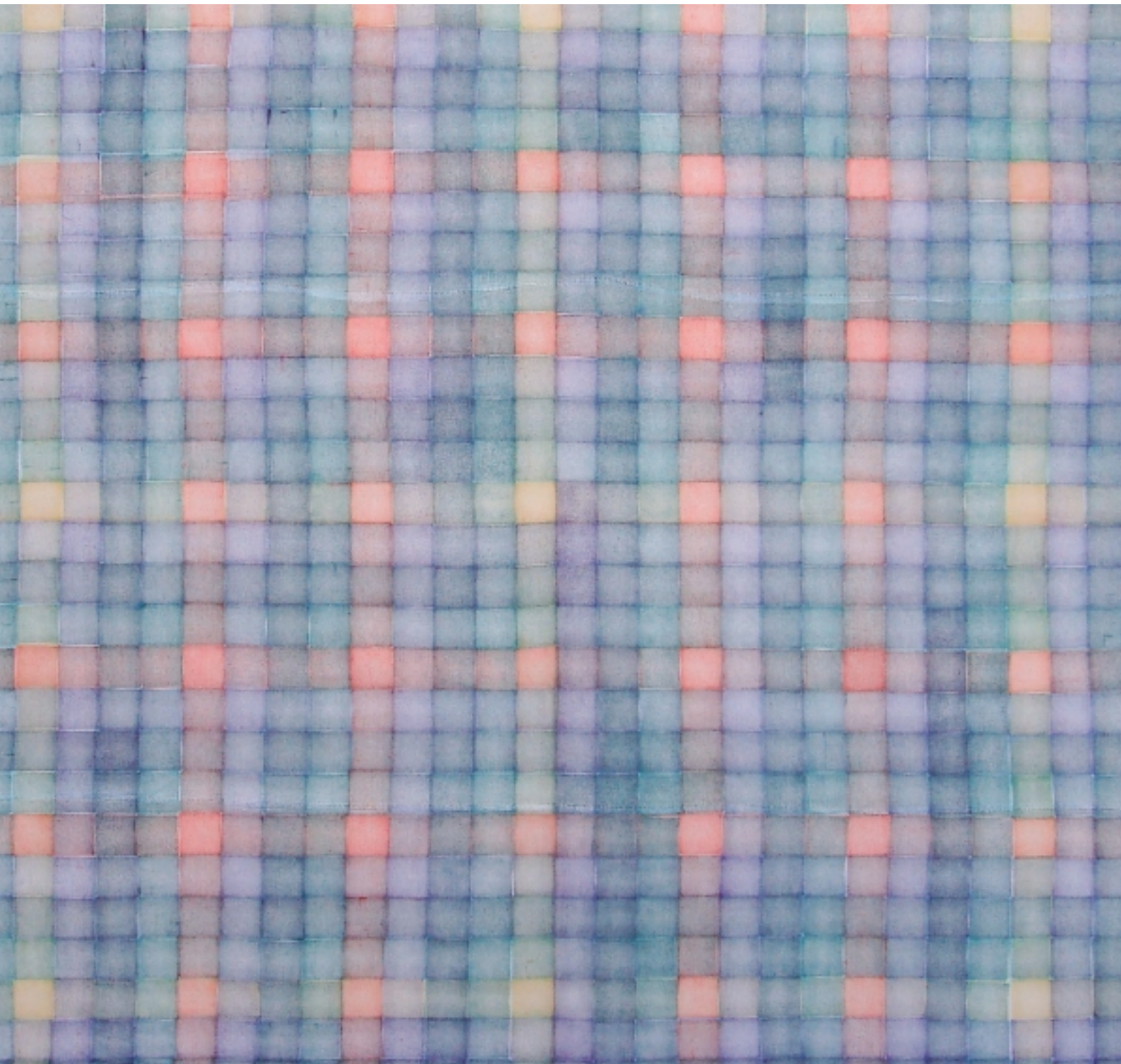
# CHOHO

広報誌【長報:チヨ-ホ-】

Vol. **24**

2008. July Summer

Since 2002



特集

「大学院国際健康開発研究科 新設」

# 七月、夏休みの季節

高校生の皆さんは、今年の夏、どんな計画がありますか？勉強の人、部活で合宿の人、海外ホームステイの人など、早くから計画を立てて待ち望んでいることでしょう。

「学長コラム」にある私のメールアドレスに、二週間ほど前、とても嬉しいメールが届きました。ご本人の許可をいただいで、以下に掲載します。

『はじめまして。私は作業療法士になるのが夢で、昨日、福岡での国立大学説明会に参加して、長大の職員の方から色々相談にのって頂きました。オープンキャンパスの申し込みをしましたので、その時、学長さんの講演を聴くのを楽しみにしています。』

ところで、おととい、私は長崎に行った時、書店で学長さんの書かれた「大学の窓から」という本を購入し、長崎大学の事がとてもわかりやすく書かれているなと思いました。他に長崎大学に関する本はありますか？

メールで教えてくだされば幸いです。お手数ですが、よろしく願います。』

九州に位置する十一国立大学が一緒になって大学説明会を東京都、広島市、福岡市で開催するようになって三年目になります。メールをくださった方は去る六月十五日、福岡市の説明会に来てくださったのです。

さて、毎年七月の長大オープンキャンパスには年々、参加者が増加して、昨年は四千人もの参加者がありました。とても嬉しいですね。

長大のオープンキャンパスは八つある学部の担当者がそれぞれの学部の特徴を説明し、また教職員・学生がそれぞれの学部を案内する形で行われます。

しかし、この形のオープンキャンパスでは、参加者は見学と説明を希望する学部のことには理解できても、長崎大学全体について「どんな大学で、どんな将来展望を持っているか」の理解が十分でないと思うのです。

大学にはそれぞれ固有の歴史があります。そして、大学全体として目指す方向(目標)や、教育研究の理念(目的)はその大学の歴史と分かちがたく結びついていることを忘れてはなりません。

今年の長大オープンキャンパスでは、参加の皆さん(もちろん希望者)に中部講堂に集まっていたとき、学長の私が長大の歴史と、将来展望を語ります。

「長崎は四百年もの昔から街全体が大学だった。長崎で学んだ海舟、龍馬、諭吉らはみな長大OB。現代の若者よ、長崎に來たれ。そして、日本、世界へと羽ばたけ。」

これは私が書いた長大のコピーです。どうですか？「大学の歴史」などという堅苦しくて退屈と思われるかもしれませんが、私の話は違います。

自分で言うのもなんですが、毎年、長大新入生の全員に話しますが、大好評なのです。オープンキャンパスでは「游学のまち長崎」と長崎大学」と題して話します。

七月十九日の長大オープンキャンパス、皆さんの参加を待っています。I can hardly wait.

## CONTENTS

【特集】 大学院国際健康開発研究科 2008年4月新設	2
【留学生のキャンパスライフ】 蔡 君柔さん (シンガポール)	8
【We Love Circle】 「わかもん!ASIA 舞蹈祭」実行委員会	9
【いいたか放題】 長崎県医師会常任理事 草場 泰之さん	10
【～安全・安心・快癒を求めて～変わるキャンパス】 改修編・新築編	12
【自然災害を考える】 長崎の安全と安心～台風・高潮・竜巻～	15
【長大ニュース】	18
【古写真に見る近代ホテルの黎明期(2)】 京都 也阿弥ホテル	20
【インフォメーション】・【編集後記】	21

◎本紙記事を長崎大学関係者が転載する場合は、「長崎大学広報誌 CHOHOO号から」と明記してください。学外の方は、事前に広報企画委員会までご連絡願います。

長崎大学長  
齋藤 寛 Saito Hiroshi

追伸:  
学長メッセージ(<http://www.nagasaki-u.ac.jp/>)  
にもアクセスしてご意見をください。  
メールアドレス: [president@ml.nagasaki-u.ac.jp](mailto:president@ml.nagasaki-u.ac.jp)  
必ずお返事します。

# 玉 際

## 長崎大学大学院 国際協力健康開発研究科 2008年4月 新設

国際協力の現場で活躍するプロフェッショナルを養成

世界には、貧困、環境破壊、紛争などを背景に、適切な保健や医療のサービスを受けられないまま多くの人々の生命や健康が失われている国や地域があります。長崎大学大学院国際健康開発研究科は、このような国際的な健康問題の解決に向けて取り組む専門的な人材を育成するために生まれました。日本で初めての試みといわれる本研究科の特色をご紹介します。



研究科長 青木 克己 教授 Aoki Yoshiki

長崎大学熱帯医学研究所教授、同研究所所長、21世紀COEプログラム「熱帯病・新興感染症の地球規模制御戦略拠点」リーダーなどを経て現職。海外学術研究では、中米グアテマラでのオンコセルカ症の疫学対策研究の他、'81年から現在までケニアにおける住血吸虫症の疫学対策研究に従事。99年小泉賞(日本寄生虫学会)受賞。'02年大山健康財団賞(大山健康財団)受賞。

### 国際協力の現場で活躍できる

「公衆衛生学修士」を育成します。

世界では、貧しい国々を中心にエイズやマalariaなどの感染症がまん延したり、多くの子どもたちが予防できる病気で亡くなったり、母親が妊娠、出産時に十分なケアを受けられずに亡くなるなどしています。近年、日本ではこのような問題に関心を持つ若者が増え、海外ボランティアをめざす人も少なくありません。ところが、残念ながらその現場では体系的な知識と実践能力を有するプロフェッショナルな人材が不足しています。長崎大学大学院国際健康開発研究科(修士課程2年)は、そのような現場で活躍できる人材として、公衆衛生学修士

(MPH: Master of Public Health)を育成するために設立しました。これまで、日本では地球規模課題である健康問題を考える国際保健分野の人材育成は立ち遅れており、本研究科はその専門的な人材を系統的に教育する日本で初めての機関として、国際協力関連機関や団体などから大いに注目され、期待が寄せられています。初年度となる今年には11人の学生を迎えました。近い将来、国際協力の舞台で活躍するために、猛勉強の日々をおくっています。

途上国において、母子の健康問題を扱う母子保健の向上は重要なテーマのひとつだ。教育を受けた母親の子どもは生存率がいいと言われ、母親の知識や意識の向上などが課題とされる。



### いろいろな分野の知識を得て、複眼的な思考を育みます。

本研究科のベースにあるのは、長崎大学が熱帯医学研究所、医歯薬学総合研究科などを中心に長年取り組んできた熱帯医学分野の研究と人材育成の経験です。海外における研究実績も豊富で、本研究科では、それを活かしながら人材を育てていきます。本研究科の教育の大きな特長のひとつが、セクターを越えた学際的なアプローチです。熱帯公衆衛生学を基礎としながらも、さらに人類学、国際経済学、社会学、行動科学など、多様で幅広い分野の知識を習得します。

ところで、なぜ、いろいろな分野の知識が必要かという、国際的な健康問題を取り巻く状況はたいへん複雑で一筋縄では解決できないからです。たとえば健康問題を抱える途上国に、いきなりワクチンや薬などを持ち込んでも、文化や社会的背景の違いから住民に拒否されたり、それに必要な環境が整っていないために使用できない場合もあります。相手にとって最適な手段や方法を見つげるために、国際情勢、政治、経済、社会、文化などを理解できる力と複眼的な思考を養う必要があるのです。



砂を掘って地下から飲料水を得るエチオピア南部の農牧民パナの人々。実はこの近くに海外の援助団体が設けた井戸があるが、メンテナンスが不十分なまま放置されている。彼らはその井戸の水を「まずい」といって飲もうとしない。真の援助とは何だろう。

99年、大干ばつに見舞われ、海外からの援助穀物の分配を待つエチオピア南部の人々の行列。しかし、配られた小麦は、彼らにとって食べたことのない見知らぬ穀物だったため、その多くが市場に転売されたという。援助が外の外れではどうしようもない。

### 海外での長期インターンシップで、実践能力を養います。

本研究科の教育のもうひとつの大きな特長が、海外の現場を体験できるカリキュラムです。第1年次の夏には、それまでに学んだ基礎知識を実践の場で活かすことを目的とした1カ月間の短期フィールド研修。第2年次には現場における問題解決能力を育成するために、学生の専門に合った現場で8カ月の長期インターンシップが行われます。それぞれの現場では、さまざまな立場の人々と渡り合うコミュニケーション能力や、それぞれの能力を上手く活かしながら、政策を立て、実施して行くマネジメント能力、調整能力などを養っていきます。これらの現

場研修は、長崎大学の海外拠点、ケニア、フィジーなどの他、JICAやNGO、国連、国際協力関連コンサルタント会社などと連携して実施されます。日本で初めての試みとなつた本研究科の設立は、学部を越えて新しい分野にチャレンジする新時代の大学の教育研究の在り方を示すものでもあり、他への波及も期待されています。この新しい体制から世界へはばたくことになる本研究科の学生たち。刺激的で充実したこの2年間が、彼らの将来の大切な礎になるのは間違いありません。

エチオピアの地方都市では、この10年間で、電灯や水道などのインフラ整備がかなり進んだ。この町でも昨年、水道供給がはじまった。水汲みは子どもたちの仕事で、以前は少し離れた場所まで歩いて井戸水を汲みに行っていた。



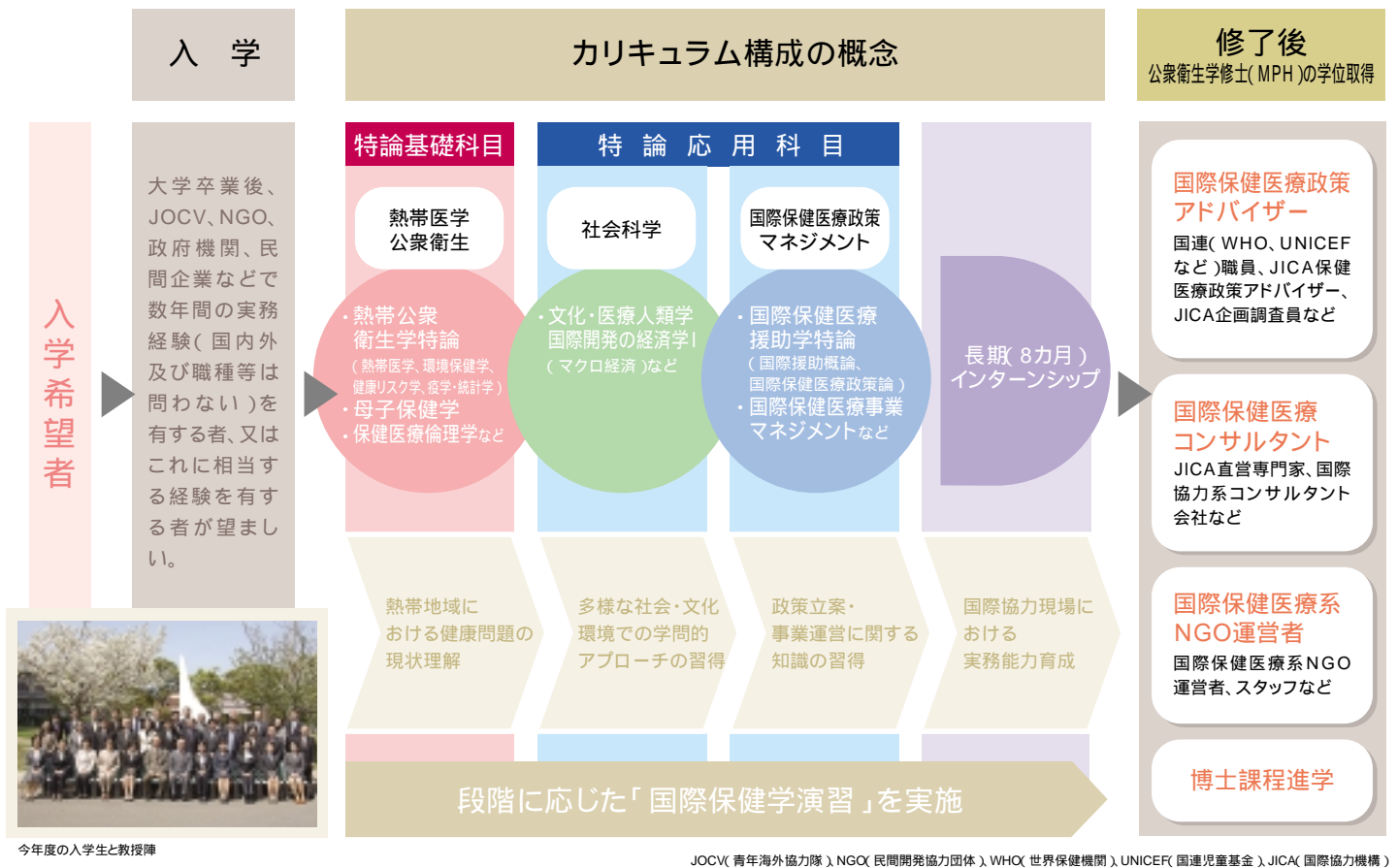
イラクでの緊急医療援助の様子。緊急援助の場合、むずかしい判断を迫られることもあり、国際協力の理想と現実のギャップを感じたり、現場の人々から学ぶべきことが多いことに、あらためて気づかされる。そして、時にはUn-learning、学び捨てることも必要に。



ピースウィンズ・ジャパン提供

Graduate School of International Health Development

# 長崎大学大学院国際健康開発研究科( 修士課程 )の概略



## 履修プロセス

学んで、体験して、自分のものにする。  
知識と実践力をバランスよく有する人材を育成します。

- 第1年次前期では、特論基礎科目を通じて、途上国の現場で国際保健プロジェクトを実施運営するための専門家として必要な基礎知識を習得します。
- 第1年次の夏休み期間に、基礎知識の実践的重要性を体験するために、短期フィールド研修(1カ月)を実施します。
- 第1年次後期には、特論応用科目を通じて、国際保健学分野の専門家に必要な専門知識を学びます。
- 第2年次では、実践的問題解決能力の育成のために、学生の専門に合わせた現場で長期インターンシップを実施。この時、課題研究報告書または修士論文に必要なデータや情報も収集します。
- 第1年次から第2年次の2年間を通じて「国際保健学演習」の研究指導を実施。課題研究報告書の発表、審査が行われます。



1年次は座学が中心。基礎知識を徹底的に身につける。



2年次の長期インターンシップで現場での実践能力が磨かれる。(写真は研修先のひとつケニア)

応援メッセージ

# 健康を考えること

池上 清子

国連人口基金  
(United Nations  
Population Fund)  
東京事務所長



健康とは、

単に心と体が病気でない

ことを指すものではない。公衆衛生的

な観点や予防医学的なアプローチももちろんであるが、実は、現代的な意味合いとしては、開発とのリンク、つまり貧富の格差是正などの社会的な視点を見逃すわけにはいかない。

国際社会がミレニアム開発目標(MDGs)を、国際社会の一致したコミットメントとして、国連総会で採択したのは2000年である。8つの開発目標を設定し、2015年までに達成すべき数値目標も定め、人権を守ること、開発の成果を求めることを基本線に据えた。これは、1990年代の国際会議やサミットで決まった国際開発目標を統合したもので、現在では、開発に関する国際社会の共通した枠組みとなっている。

例えばこのミレニアム開発目標の中で、1994年の国際人口開発会議の成果は、ジェンダーの平等(目標3)、母子保健(目標4と5)、HIV/エイズなどの感染症対策(目標6)、環境の持続可能性の確保(目標7)としてまとまっております。8つのうち3つが保健分野の目標であ

## ミレニアム開発目標(MDGs)

- 目標1 極度の貧困と飢餓の撲滅
- 目標2 初等教育の完全普及の達成
- 目標3 ジェンダー平等推進と女性の地位向上
- 目標4 乳幼児死亡率の削減
- 目標5 妊産婦の健康の改善
- 目標6 HIV/エイズ、マラリア、その他の疾病のまん延の防止
- 目標7 環境の持続可能性確保
- 目標8 開発のためのグローバルなパートナーシップの推進

(外務省ホームページ「ミレニアム開発目標(Millennium Development Goals:MDGs)」より抜粋)



る。経済・社会開発を進めていくうえで、人々や家族の健康がいかに重要であるかを示している。国際的な視点、しかも、開発と健康とのリンクを考え、学ぶことは、こ

れからのグローバルな社会において、日本人として、また地球人として貢献するために求められている資質ともいえよう。長崎大学の国際健康開発研究科は、そのための知識と経験を蓄積する場を若い人たちに提供してくれるものと期待している。

今年がMDGs目標達成までのちょうど中間年である。9月には国連総会で今までの成果が検証され、2015年までに私たちが何をすべきかが再度問われることになる。



## 国際健康開発研究科の新入生たち 人類への愛とフロンティア精神が原動力

吉岡 浩太さん



中米コスタリカで村落開発普及員を経て、グアテマラでJICAが実施しているアメリカ大陸特有の感染症、「シャーガス病」の対策プロジェクトに関わったのを機に、途上国の保健行政全般に興味を持ち、研究科へ入学しました。ここでは常に現実で活かせる学問をしていくというスタンスが気に入っています。グアテマラでは子どもの頃、内戦のため勉強できない境遇にあった現地の職員が、大人になった今も仕事の合間に少しでも学ぼうとする姿を見て心を打たれました。私は、勉強できるこの機会を大切にしなければと思っています。

東芦谷 梓さん



助産師として2年間働いた後、この研究科へ入学しました。もともと国際協力に興味があり、琉球大学国際保健研究会に所属し、いつか助産師として携わりたいと思っていました。現在、熱意ある先生方や途上国などでの国際協力の経験が豊かな同級生たちに囲まれ、毎日、刺激を受けながらいろんなことを吸収しています。私もそうでしたが、国際協力の現場での経験がないからと、入学を躊躇している人がいるかも知れません。でも、思いきってチャレンジすることをお勧めします。

宮本 奈穂子さん



私は、社会福祉士としてフィジーの養護学校で協力隊の経験があり、そこで保健医療支援の重要性を実感し、きちんとその分野の勉強をして国際協力の現場で働きたいと強く思うようになりました。大学が文系だったので、医師や看護師といった医療のバックグラウンドを持つ同級生より、勉強は確かにたいへんですが頑張りたい。この研究科では医療に限らず、広い体系で学べるのが魅力です。今は、自分のやりたいことをやれて、とても充実しています。



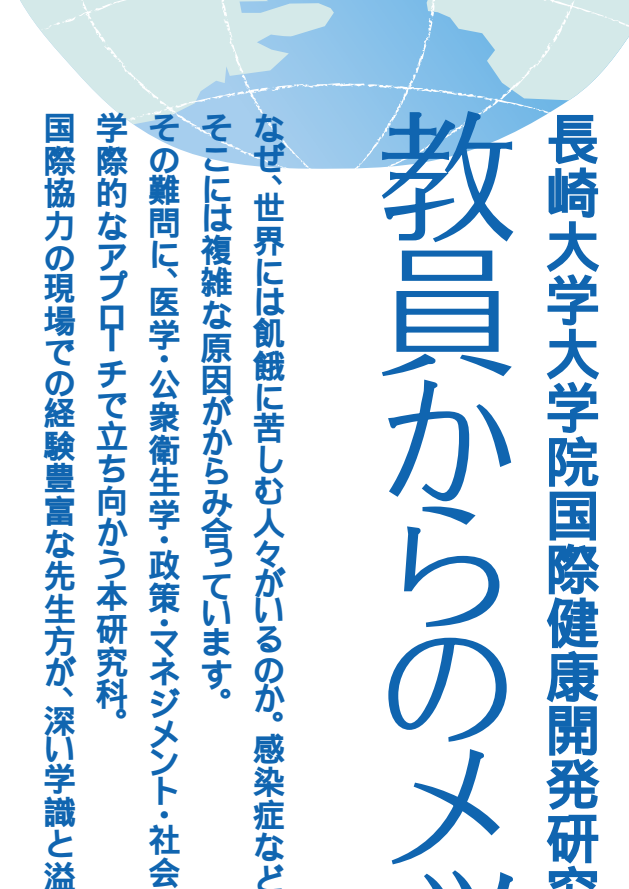
Kudo Takeshi  
工藤 健准教授

担当科目:国際開発の経済学(マクロ経済)



Kaneko Satoshi  
金子 聡教授

担当科目:サーベイランス・システム論



Kurosaki Nobuko  
黒崎 伸子 非常勤講師

国境なき医師団 ボランティア医師(外科医)、日本BPW 連合会会長  
担当科目:緊急医療援助論



Masuda Ken  
増田 研准教授

担当科目:文化・医療人類学、国際保健学演習

# 長崎大学大学院国際健康開発研究科 教員からのメッセージ

なぜ、世界には飢餓に苦しむ人々がいるのか。感染症などの病気がなくなるのか。そこには複雑な原因がからみ合っています。その難問に、医学・公衆衛生学・政策・マネジメント・社会学・経済学など、学際的なアプローチで立ち向かう本研究科。国際協力の現場での経験豊富な先生方が、深い学識と溢れる熱意で、学生たちを鍛え上げます。

■途上国における貧困削減は、地球規模の課題となっており、感染症などの健康問題とも深く関わっています。また、その国の貧困削減には、経済成長が必要条件(ただし、十分条件ではありません)となることから、過去の経験から知られています。

私が担当する「国際開発の経済学Ⅰ」では、貧困削減の前提条件となる経済成長の仕組みを解明して、必要とされる経済開発の政策を国際的な視点から考えます。

また、途上国では、そのような政策に必要な資金が不足しがちなため、外国に借りたり、援助をあおぐ必要が出てきます。その際に生じる為替レートの変動や通貨危機がもたらす課題についても考えていきます。そのうえで、人々が豊かさを手にする条件を探っていきます。

■途上国の現場では、実践かつマネジメントのできる人材が求められています。本研究科は、そのような人材を育てることを目的としており、日本で初めての国際保健に特化した修士号の取得可能な研究科です。これから、どのように成熟していくのかは、この春入学した第一期生をはじめ、今後入学し、修了していく学生たちの双肩にかかっています。日本におけるこの分野の開拓者であることを自覚し、文化づくりと次の世代に伝えるための知識と経験の体系化を念頭にがんばってください。歴史は、本研究科の修了生によって作られます。

講義は、継続的情報収集(サーベイランス)論を中心に展開します。途上地域の健康状態を把握し、根拠(エビデンス)に基づく健康対策が必要です。ケニアで待っています。



工藤先生が論文(共著)を寄せた欧米の論文集。日本の金融政策や途上国に大きな影響を与えたとされるアメリカの経済の動向などについて書かれている。



長崎大学の海外研究拠点のひとつケニアのプロジェクティアリア内の子どもたち。女の子は毎日朝夕湖まで水を汲みに行く。男の子は牛追いが仕事。みんなケニアの空のように明るい笑顔が絶えない。



ピーススウィングス・ジャパン提供



■2001年から「国境なき医師団(MSF)」で外科医として活動してきた経験から、緊急医療援助概論の一部を担当し、現場での体験をもとに講義します。

紛争・貧困・自然災害に起因する人々の苦悩、そして、医療へアクセスできない人々への援助は短期では解決できず、広い医学知識以外に、社会情勢・文化・宗教への理解、異文化への適応力などが要求されるために、援助チームを支えるさまざまな人材が必要です。

この1カ月、外科医としてソマリアに滞在し、紛争が激しい日には銃創患者が数十人搬送され手術したり、緊急帝王切開など多忙な日々でした。残念ながら最後は治安悪化で緊急撤退しましたが、私が手術をした少年が空港に現れたのには驚くとともに大感激でした。(写真上)



緊急医療援助で出向いたソマリアでの手術室の様子。黒崎先生は、国境なき医師団のメンバーとして、スリランカ、イラク、インドネシア、リベリア、ナイジェリアなどへの派遣歴を持つ。

■健康開発は教育と並んで、社会開発の中でも中心的な役割を果たす部分です。その究極の目標は、その土地の人々が違和感なく幸福を感じられるようになることでしょうか。大事なことは、誰が、どのような問題を感じているかです。学校教育が普及することを喜ぶ人、新しい価値観が入り込んでくるのを苦々しく思う人、だっています。

私はエチオピア南部の少数民族社会で、まさに現在進行中の近代化プロセスを研究していますが、国家規模の経済発展や辺境地域の開発事業が、在来の生活文化に変化をもたらす、人々のあいだにさまざまな葛藤を生み出していきのを目の当たりにしてきました。

一人ひとりが違和感なく幸福を感じられるにはどうしたらいいのか。その問題を一緒に考えてみたいです。



世界には多様な生活文化や価値観がある。家畜の胃の中身を取り出して全身に塗る老婆。エチオピアのこの民族にとって、それは薬で、豊穡のしるしとされている。

## 長崎大学に留学した きつかけは何ですか？

子どもの頃、シンガポールで放映された日本のドラマを見て、日本に興味を持つようになった。進学したシンガポール国立大学では、生命科学を専攻し、鳥インフルエンザなどのウイルスに関する研究をしていましたが、同時に日本語のクラスにも入りました。言葉を学ぶうちに、日本の伝統文化や歴史も知りたいと思うようになり、当時の日本語の先生から留学の情報を得て、大使館推薦での日本政府奨学金で、昨年の春に来日しました。

## どんなキャンパスライフを送っていますか？

午前中は講義を受け、午後は所属している研究室で人間の免疫システムについて研究をしています。現在は基礎研究の段階で、いろいろな研究技術を身につけていく予定です。

毎日の研究生活は多忙で、普段は夕方6時、7時くらいまで研究室にいますが、もっと遅くなったり、週末の休みを返上することもあります。

## 日本での生活はいかがですか？

おおむね良好です。ひとつだけ、慣れないのは気候の変化です。シンガポールは一年を通して高温多湿ですが、日本には四季があります。寒さが苦手な体調をくずすこともありました。

普段の生活では、自宅にもどるとシンガポールの親や友人とメールのやりとりをしたり、本を読んだり、日本や韓国のドラマを見たりして、気分転換をしています。

日本の文化で好きなのは華道です。季節や景色などを考えて花を選び、生けていくのが、とてもクリエイティブだと思います。

## 故郷の国民性、おいしい食べ物について教えてください。

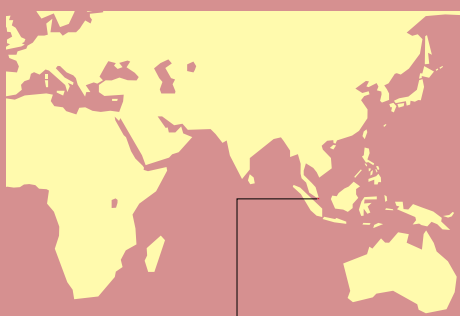
シンガポールの人は率直で、きらいなものや人に対して、ストレートに気持ちを伝えます。だから、イエス・ノーがあいまいな日本人の気持ちはわかりにくいです。

料理は、海南チキンライスがおすめです。中国の海南島出身の人がシンガポールに伝えた料理で、チキンスープで炊き上げたご飯の上に、ゆでたチキンをのせ、チリソースやゴマ油などをかけて食べます。とてもいい香りです。

## 今後の展開、将来の夢について教えてください。

今、研究がとても面白く、もっと上手に進めていけるようになりたいと思っています。これから5年間、長崎大学で学び、学位の取得をめざします。将来は帰国し、シンガポールの熱帯医学研究所などでウイルスのこと、免疫のことをリンクさせた研究をしたいと思っています。

# 留学生のキャンパスライフ



## シンガポール共和国

Republic of Singapore

東南アジアの金融・経済の中心地、シンガポール。

東京23区とほぼ同じ大きさの小さな

島国ですが、中国系、マレー系、インド系など

たくさんの民族が融合。

さまざまな言語や文化で彩られた

インターナショナル シティです。



今は、免疫の研究に夢中!  
がんばって  
結果を出していきたいです。

チュア  
蔡 君柔さん  
Chua Koon Jiew

大学院医歯薬学総合研究科  
博士前期課程  
生命薬科学専攻 1年



留学生センターの企画で、他の留学生たちと一緒に雲仙へ。



「今、IRF4という免疫因子がタンパク質の種類ごとに、どんな相互作用をするのか、といったことについて研究しています。細胞のベースに合わせて行う研究は時間がかかり、当然、研究室で過ごす時間が長くなります。



真剣な意見が飛び交う会合。発想力や行動力を発揮して、着々と準備を進める。



齋藤学長も応援に駆けつけた、第3回オープニングセレモニー。



「わっかもん!ASIA 舞踏祭」のシンボルマーク。初代のメンバーが何気なく描いたイラストが採用された。



今年の第3回わか祭は、30数チームが参加。観客数も3,000人近くに及んだ。



わか祭を幅広い年代に楽しんでもらうため、出店やフリーマーケットなどいろいろなコーナーも設けている。

# 踊りのパワーで長崎を元気にしたい!!

「わっかもん!ASIA 舞踏祭」

(以下、「わか祭」)は、園児からお年寄りまで、

いろんな踊りのチームが集まって、自分たちの演舞を次々に披露

していく賑やかなお祭りです。毎年3月上旬の土曜日、長崎水辺の森

公園で開催。港ののびやかな景色をバックに、よさこい、沖縄のエイサー、ヒップ

ホップ、ラテン系ダンスなど多彩なジャンルの踊りが繰り広げられ、踊る側も見る側も、笑

顔いっぱい楽しい時間を過ごします。

「わか祭」は、平成18年に長崎大学の学生などを中心とした若者たちによって立ち上げられました。

「「わっかもん」とは、長崎で「若者」のことをいいますが、ここでは「老若男女を問わず、長崎の元気な人々」

という意味です。このお祭りは、そういう人たちのパワーや踊ることの楽しさで、まちを元気にしたいという思いから

スタートしました」と話すのは、代表の野口汐里さん(教育学部4年)。毎年3月に開催するのも、「長崎の代表的なお祭りやイベントがこの月だけなかったから」だそうで、地元にも少しでも貢献したいという真剣な思いが伝わってきます。

## 「わっかもん!ASIA 舞踏祭」実行委員会

実行委員会の会合は毎週1回。参加チームの呼びかけを始め、資金を集める「協賛まわり」や、会場の設営・機材のリースのことなどについて話し合い、来年3月の第4回開催に向けて少しずつ確実に準備を進めています。

「参加を呼びかけると、やってみたいけど、踊りを知らないという人たちもいます。そんな時は、踊りを教えに行く活動もしています」と話すのは副代表の中本雅也さん(工学部3年)。実行委員には、中本さんをはじめ長崎大学の「よさこい部」のメンバーを兼ねている人も多く、そういう人たちが率先して指導にあたります。

「前回、地元ロータリークラブの方々にもいろいろな面でご協力をいただきました。私たちが知らないこと、気づかない点などを指導していただき心から感謝しています」という野口さんは、今年、初代代表の卒業で、二代目を引き継いだばかり。「これまでの参加チームやお世話になった企業の方などから、次も楽しみにしているよとか、準備はどこまで進んでいるの?などと声をかけていただくようになりました。

メンバーは卒業で代わっていきますが、きちんとバトンタッチをして、着実に回を重ね、もっと多くの人を元気にするお祭りに育ってほしいと思っています。」



**代表**  
**野口汐里さん**(教育学部4年)  
お祭りの名称に「ASIA」とあるのは、長崎が歴史的に国際色豊かだということで、このお祭りを長崎から全国、そして世界へと広げていきたいという思いが込められています。



**副代表**  
**中本雅也さん**(工学部3年)  
踊りはとにかく楽しい!!見るだけでも盛り上がります。

実行委員は現在26人。長崎大学の学生だけでなく、近隣の大学からもメンバーが集まる。



# 医の道 を志す者へ

長崎県医師会常任理事

草場 泰之

Kusaba Yasuyuki

プロフィール 1946年生まれ。長崎市出身。  
1970年に長崎大学医学部泌尿器科学教室に入局。  
1986年から日本赤十字社長崎原爆病院勤務。  
2002年から長崎県医師会常任理事に就任。  
学術・生涯教育、勤務医、産業保健、  
医療紛争を担当。



日本最古の医書といわれている、平安時代の『医心方』には、「大慈惻隱の心」をもって医を行うべしと書かれている。「大慈」とは仏教、「惻隱」とは儒教の教えをよりどころにしている。医師は仏のような大きな慈悲をもって、病人を深く憐れみ、悲しみの心をもちなさいと説いている。

江戸時代になると、貝原益軒は養生訓の中に「医は仁術なり。仁愛の心を本とし、人を救うを以て志とすべし」と書いている。いわゆる「医は仁術なり」という有名な格言がここに書かれていて、その後全国にその言葉は広まった。

1857年に、軍医ポンペは日本海軍派遣要請に応じて、長崎に来て医学校を開校し、5年もの間、全身全霊を注ぎ込んで、医学の講義、実習を行ったが、ポンペが残した言葉として、「医師は自らの天職をよく承知していなければならぬ。ひとたびこの職務を選んだ以上、もはや医師は自分自身のものではなく、病める人のものである。もしそれを好まぬなら、他の職業を選ぶがよい」と説いている。非常に厳しい言葉である。

小さい時から、一生懸命勉強し、受験で苦労して医学部に入學し、少なくとも6年間医学を学び、医師国家試験に合格し、やっと医師になる。しかし、

それは「ゴール」ではなく、「スタート」である。過去の多くの師の教訓をしつかり胸に抱いて、非常に厳しい医の道を極めなければならぬ。

だから、ただ勉強ができるから、医学部に入ったのでは許されない。医の道を進むは「きり」とした動機、崇高な目的がなければならぬ。そうでないと途中で挫折してしまつてしまう。

なぜなら、今、日本の医師を取り巻く環境が、あまりにも厳しい過ぎるからである。最善をつくしても結果が悪ければ、医療訴訟となるケースが増え、裁判での判決が出るまでに多くの時間と労力と費用が費やされている。

日本の医者はあまり恵まれない待遇の中で、いつ訴えられるかわからない恐怖を抱きながら、患者さんの治療に当たっている。しかも、医は仁術であるという精神を必死で守りながら。

医者は高額所得者で、優雅に暮らしているというのは誤解である。現実には悲惨で過酷な労働条件で働かなければならぬのである。

今多くの医師たちは、自分が好きな仕事をしていられるという満足感だけで、何とか生き甲斐を見つけて、必死にがんばっている。

このようないばらの「医の道」を進むには、燃えるような熱い志と確固たる信念が必要なのである。



# 変化するキャンパス

安全・安心・快適を求めて、よりよい教育と研究活動を展開するため、安全かつ機能的な施設の整備が進められている長大キャンパス。改修によって生まれた文教キャンパスの新しい表情、快適な空間、そして新築したばかりの医学部・歯学部附属病院をご紹介します。

## 改修編・新築編

### 改修編

## 文教キャンパス

現在、主に教育学部・工学部・水産学部において、老朽施設の再生と耐震性能の確保に重点を置いた改修が進められています。



教育学部

### 教育学部の建物

新たに耐震補強を施した外観。周囲の緑と調和するデザインで、温もりのあるイメージを演出しています。また、省エネルギー対策として窓には全面断熱効果の高い複層ガラスを採用しています。



工学部

### 工学部のテクニカルシャフト

建物外観の縦のラインを強調し、工学部らしい先進性をイメージしたデザインのテクニカルシャフト。外部に設置した配管やダクトなどを覆っている。これにより、屋内用途に影響されず、外部に機能的な設備インフラを構築できます。この他にも建物全体に将来的な用途や機能の変更に対応できるような工夫がされています。



水産学部

### 水産学部のリフレッシュコーナー

ウッドデッキが心地良い開放感あふれるスペース。こののんびりとランチタイムを過ごす学生も多いようです。

### 校舎改修のコンセプト

- 1 安全性の確保  
耐震設計やシックハウス対策など
- 2 機能性の向上  
高性能・高機能の材料や設備の採用
- 3 経済性の追求  
使用材料の見直しなどでコストを削減
- 4 フレキシビリティの確保  
将来的な用途や機能の変更に対応
- 5 環境への配慮  
省エネ設計、再生資材や自然エネルギーの利用
- 6 ユニバーサルデザイン  
全ての人のためのデザイン
- 7 学部らしいデザイン  
学部の個性を外観デザインや仕様などで表現



### リフレッシュルーム

友達との会話を楽しんだり、ちよつと息入れたい時は、各フロアに設けられたリフレッシュルームへ。利用者がゆつくりくつろげるようにドアや壁に適度な目隠し効果を施したタイプや気軽に利用できるオープンタイプなど、フロアや学部ごとに個性があります。また、ミニキッチンも備えられ、何かと便利になりました。



### 色彩効果

教授室や実験室のドアの色を統一して、見た目もふ引き。工学部はイエロー、水産学部はブルーで統一しています。



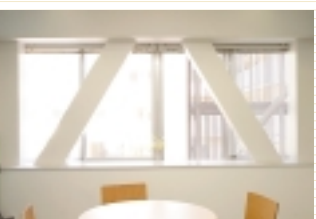
### 出入口階段、エレベーター

車椅子の方も利用しやすいエレベーターや出入口のストロップ。視覚障害がある方でも判別しやすい色彩による階段口のサインなど、より多くの人にやさしい使い勝手を工夫しています。



### 手すり

ベランダ通路に設けられたパンチングメタルの手すり。風通しや強度のことを考慮した素材です。



### 鉄骨ブレース

窓に、太く「ハ」の字に入った耐震補強の鉄骨ブレース。もし地震などで大きな力が建物に加わっても、この鉄骨がその力に抵抗して、建物を守ります。

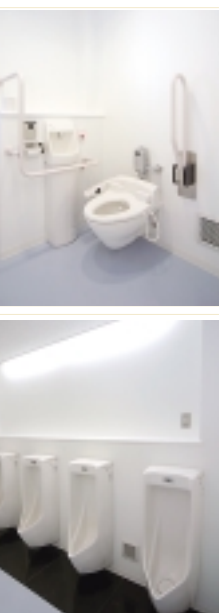
### パウダールーム

食後の歯磨きや身だしなみを整えるときに利用します。



### トイレ

余計なドアを設けず、視線をさえぎる工夫ですっきりと快適な空間になりました。身体の不自由な方も利用しやすいトイレも完備しています。



新築編

# 医学部・歯学部附属病院の 新病棟・診療棟

去る6月4日、3年の工期を経て開院。新時代の大学病院にふさわしい医療を提供できる高品質・高機能の建物です。今回、そのごく一部をご紹介します。



## 新病棟・診療棟(南西面)

『最高水準の医療を提供するとともに、人間性ゆたかな優れた医療人を育成し、新しい医療の創造と発展に貢献する』という同附属病院の基本理念の実現をめざして整備された新病棟・診療棟。地域の災害拠点病院として救急医療に対応した施設も充実しています。

### 整備方針

- 1 病室の環境改善**  
6床室から4床室へ改善し快適な療養環境を実現
- 2 ゆとりある看護の体制**  
よりきめ細やかな看護サービスを提供
- 3 アメニティの確保**  
食事ができる食堂・談話室や屋上庭園など、憩いのスペースの充実
- 4 診療動線の明確化**  
病院スタッフと患者・訪問客との動線を分け、院内の混雑を解消
- 5 臓器別のフロア構成**  
機能的・効果的な医療の実践
- 6 臨床研修スペースの確保**  
医療現場にて実践的な教育を実現



### 病室

プライベートに配慮した快適な療養環境です。窓は、壁の高い位置から低い位置まで広く設けられ、ベッドで横になうたまま外の景色を眺めることができます。

### 眺望

病室(南側)からも、稲佐山から女神大橋まで市街地を一望。美しい長崎の景色をいつでも楽しむことができます。



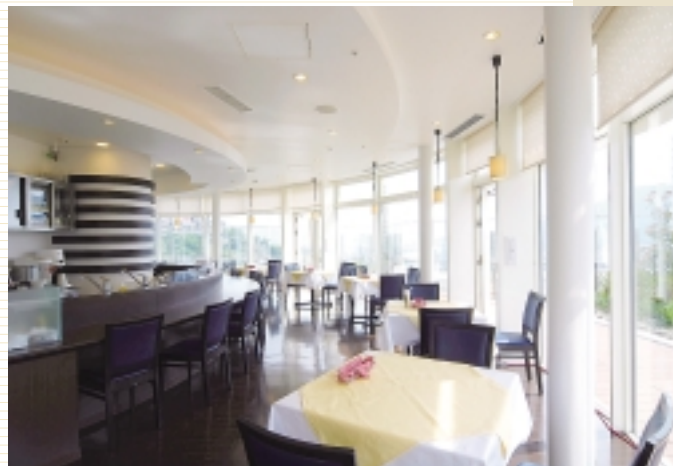
### 外来ラウンジ

(吹き抜けの通路・1階)

正面玄関から続く外来ラウンジ(吹き抜けの通路)は、開放感あふれるガラス張り。エスカレーターが3階まで続き、移動がスムーズになりました。

### 展望ラウンジ(14階)

最上階からのすばらしい展望は、長崎の新しいビュースポットともいえるほど。屋上庭園もあり、憩いのスペースが充実しています。



### 店舗等(1階)

コンビニエンスストア、フรายーショップ、ケーキショップ、銀行ATMなど便利な施設が揃っています。



### 新病棟・診療棟の概要

構造: 4階以下は鉄骨鉄筋コンクリート造、5階以上は鉄骨造、制震構造  
階数: 地下1階、地上14階、塔屋1階  
建築面積: 3,920m<sup>2</sup> 延床面積: 43,810m<sup>2</sup>

# 長崎の安全と安心

## 台風・高潮・竜巻



中心付近の最大風速がおよそ17 m/s以上のものを台風と呼びます。夏から秋にかけては、太平洋高気圧の周辺を廻って、日本に向かって北上する台風が多くなります。台風は年平均約27個発生しますが、そのうち約3個が九州北部に接近し、大雨、強風、高潮、高波をもたらします。また、最近では2006年9月宮崎県延岡市や2008年3月鹿児島県垂水市で竜巻が発生しています。今回は台風、高潮および竜巻についてその特徴と防災対策を紹介します。



## 台風被害の激減が生んだ新たな課題

台風による災害を調べると1900年から1920年にかけて男女群島付近で珊瑚採取船や漁船の座礁・沈没で、多くの死者・行方不明者が出ました。

1945年第二次世界大戦後から1959年伊勢湾台風までは、大型台風が疲弊した日本列島を頻繁に襲いました。昭和と平成に入ってから台風の被災を比較すると、死者・行方不明者および家屋の浸水被害は激減しています(表1)。また、台風の予報技術の進歩

と情報伝達システムの整備、防波堤などの基盤整備による対策の効果といえます。ところが、被害が少なくなると災害体験の風化によって、基礎知識の欠如、災害伝承の途絶、台風が来ても自分は大丈夫だとする正常化の偏見が見受けられるようになりました。1991年9月27日の台風第19号上陸時には、台風の目の通過の最中に屋根の修理や路線バスの運行を始めるなど危険な対応が見受けられました。また、停電による断水やハイテク工場の被害などの新しい課題も出てきました。

表1 昭和の3大台風と平成の3大台風による被害

上陸・接近年月日	台風名	上陸時の気圧(hPa)	死者・行方不明者(人)	建物浸水(棟)
1934年9月21日	室戸台風	912	3,036	401,157
1945年9月17日	枕崎台風	916	3,756	273,888
1959年9月26日	伊勢湾台風	930	5,098	363,611
1991年9月27日	第19号	940	62	22,965
1993年9月3日	第13号	930	48	10,447
2004年9月7日	第18号	945	45	8,196

工学部安全工学教育センター  
高橋 和雄 教授  
Takahashi Kazuo



## 長崎県と台風

長崎県に大きな被害をもたらした近年の主な台風とその被害概要を以下に示します。

### 1987年8月台風第12号

8月30日夜から31日未明にかけて本県西海上を通過した台風は県内各地の港湾設備や船舶をはじめ、山林、家屋、農作物、養殖魚などに大きな被害を与えました。最大瞬間風速55.6 m/s(福江測候所)、53.2 m/s(平戸測候所)、52.1 m/s(厳原測候所)といずれも従来の極値を大きく更新しました。この台風で、長崎市三重に建設中の新長崎漁港施設の堤防が大破しました。その他、西側の海岸線に沿った県内各地の漁港、港湾、道路などの被害が目立ちました。

海岸線が長い長崎県では、台風による高波によって防波堤の被害が多発しています(写真1)。

## 1991年9月台風第19号

9月27日五島灘を北上した大型で非常に強い台風中心気圧940hPa、中心付近の最大風速50m/sは勢力を保ったまま16時過ぎに佐世保市の南に上陸し、県内で死者5人、電柱や送電鉄塔の倒壊や切損(写真2)、家屋(写真3)、農作物などに大きな被害を与えました。最大瞬間風速は54・3m/s(長崎海洋気象台)、42・1m/s(佐世保測候所)を記録し、統計開始以来第1位となりました。

## 台風情報の充実と新しい表示

気象庁はここ数年、わかりやすい防災気象情報の出し方に力を注いでおり、むずかしい専門用語の使用を減らしたり、観測データの出し方に工夫をするなどしています。台風情報も2007年4月から、よりきめ細やかな新しい表示になりました。

台風が日本に近づくと、24時間先までの台風の位置と強さ(風速25m/s以上の暴風域と15m/s以上の強風域)がこれまでの12、24時間先の予報を細分化し、3時間刻みで発表されます。それぞれの地域で



写真1・上  
2005年9月6日の台風第14号による防波堤の被害  
(長崎県土木部港湾課提供)



写真2・左  
1991年9月27日の台風第19号による送電鉄塔の被害  
県内では九州電力の送電鉄塔が倒壊したことから電力の復旧に時間がかかった。また停電で長崎市水道局の揚水ポンプが停止したため、断水が生じた。  
(長崎海洋気象台提供)



写真3  
1991年9月27日の台風第19号後の長崎市内の斜面地の住宅  
瓦が飛ばされた家屋では、応急対策として青いビニールシートが屋根に張られた光景が多数見受けられた。阪神・淡路大震災後の阪神間の住宅地や福岡県西方沖地震後の玄界島斜面地でもこのような光景が見られた。(長崎新聞社提供)

警戒が必要となる時間帯がより詳しくわかるようになりました。

台風の進む方向をよりわかりやすくするために、予報円(70%の確率で台風の中心が位置すると予想される範囲)だけでなく、予報円の中心の点や、それを結ぶ線を表示しています。また、暴風域に入るおそれがある範囲を暴風警戒域といい、予報時刻毎に円で表示されますが、暴風警戒域の円の重なりをなくすために、予報期間の暴風警戒域全体を囲む線で表示されています(図1)。さらに、台風に伴う最大風速に加えて、最大瞬間風速も発表されるようになりました。

全国を374に分けた区域ごとに72時間先までに暴風域に入る確率の分布図も発表されています。

## 知っておきたい 台風の基礎知識

台風の性質を知っておけば、備えも可能なのでいくつか紹介します。

台風の風は反時計回りなので進路の右側では台風による風と進行速度による風が同じ方向に吹くため風が強くなり

ます。したがって、台風が長崎県より西側を通過するときには県内の風速が強くなります。

台風の風速は10分間の平均風速で発表されますが、風速は変動しており、最大瞬間風速は1.5倍から2倍になることがあります。風速が2倍、3倍になれば、風圧は4倍、9倍になります。

台風の風速は地形や地面からの高さによって大きく異なります。風が通り抜けるところやビル周りの風も一部強くなることがあります(写真4)。

## 多発した高潮 による浸水

高潮とは、台風や低気圧の接近で海面が高くなる現象で、低気圧による海面の吸い上げ効果と強風による海水の吹き寄せ効果があります。気圧低下1hPaにつき海面が約1cm上昇します。このような海面上昇と暴風による高波が、海面を高くする原因になります。近年では、1999年9月24日の八代海の高潮が記憶に新しいことですが、1990年代から発生回数が増えています。島原市有馬船津町周辺では町内に海水が入り込む高

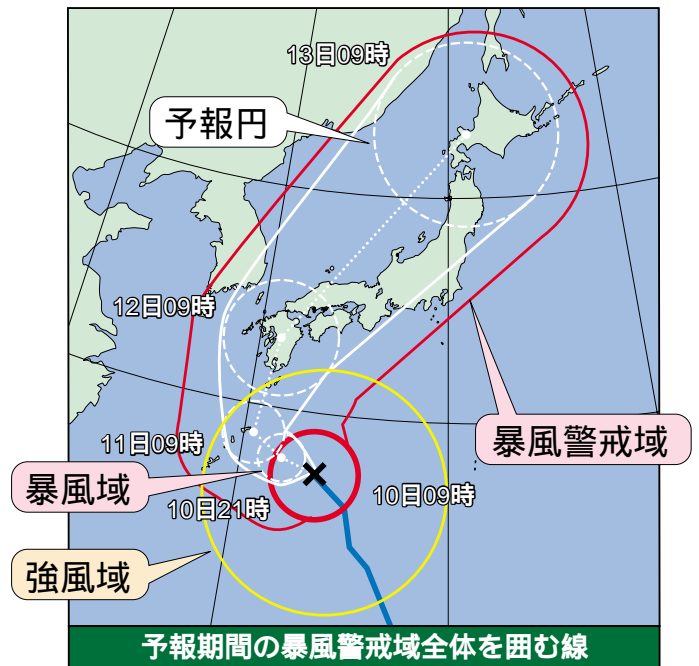


写真4・上  
2007年9月17日の台風第13号による長崎大学文教キャンパス内の被害  
建物間の樹木の被害が目立った。また、高い建物の周辺での低層の建物の被害があった。(高橋和雄撮影)

写真5・下  
高潮に悩まされる島原市有馬船津町の浸水状況(島原市提供)

図1  
2007年4月からの台風情報の新しい表示(気象庁のHPより)

潮が頻発しています(写真5)。

## 防災の取り組みが 始まった竜巻

竜巻は季節を問わず、全国どこでも台風、低気圧や前線、寒気の流れによる積乱雲や積雲の発達に伴って発生します。過去の統計によれば、年平均約19個の竜巻が発生していますが、特に台風シーズンの9〜10月が最も多くなっています。発生メカニズムはまだ十分に解明されていませんが、観測技術や予測技術の高度化で積乱雲の動きの予測が可能になり、2008年3月から竜巻注意報が発表されるようになりました。

今後の自然災害による被害を減らすには、竜巻のような予測困難な低頻度の災害にどう備えるかが重要です。空が急に暗くなる、大粒のひょうが降る、「雲の底から地上に伸びる」といった状の雲が発生する、「飛散物が筒状に舞い上がる」、「気圧の変化で耳に異常を感じる」などの竜巻接近時に現れる特徴、竜巻からの身の守り方を知りましょう。詳しくは気象庁のホームページを参照してください。  
<http://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/tatsumaki/index.html>

### 長崎大学名誉校友称号を授与

長崎大学の卒業生で各界において顕著な功績を挙げ、長崎大学の名誉を高めた方に授与する長崎大学名誉校友の称号が、福地茂雄氏(経済学部卒業、NHK会長)、井石哲哉氏(医学部卒業、長崎県医師会会長)、久松シノノ氏(長崎医科大学附属産婆看護婦養成所卒業、長崎如己の会副会長)に贈られることとなり、3月25日長崎ブリックホールで行われた卒業証書・学位授与式に引き続き行われた授与式では卒業生、修了生が見守る中、齋藤学長から井石哲哉氏、久松シノノ氏に称号が授与されました。



福地茂雄氏(左) 久松シノノ氏 井石哲哉氏  
また、6月7日都市センターホテル(東京都)で行われた経済学部同窓会の瓊林会総会に先立ち行われた授与式では瓊林会会員約250名が見守る中、齋藤学長から福地茂雄氏に称号が授与されました。3名の方々の功績については、本学ホームページでご覧いただけます。

### 新病棟開院記念式典を挙

5月17日、医学部・歯学部附属病院は新病棟開院記念式典を挙りました。式典に先立ち、ホステルフロアで岡誠一文部科学省大臣官房文



テープカットの様子

教施設企画部技術参事官、齋藤学長、江口病院長、河野医学部長、林歯学部長及び演理事によるテープカットが行われました。

良順会館で行われた式典では、江口病院長が式辞で、今回の新病棟完成を弾みに、安全で質の高い医療の提供はもとより、先進的医療の開発、優れた医療人の育成等に継続的に取り組むさらには中期の展望に立つた長崎大学医学部・歯学部附属病院の基盤整備に尽くしたいとの決意を述べました。続いて齋藤学長から挨拶があり、さらに舌津一良文部科学省大臣官房文教施設企画部長(代読：岡技術参事官)、高木義明衆議院議員、富岡勉衆議院議員及び大久保潔重参議院議員からそれぞれ祝辞が述べられました。



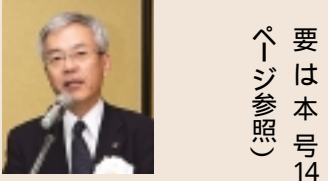
齋藤学長 江口病院長



高木衆議院議員 岡技術参事官



大久保参議院議員 富岡衆議院議員



河野医学部長

(新病棟の概要は本号14ページ参照)

### 工学部に「TDK寄附講座エネルギーエレクトロニクス学講座」を設置

工学部に平成20年4月より5年間、TDK株式会社(上釜健宏社長)からの寄附を受け入れ、「TDK寄附講座エネルギーエレクトロニクス学講座」を設置しました。4月10日に行われた看板上掲式には、上釜社長をはじめTDK株式会社の関係者を迎え、大学側からは齋藤学長、石井理事、演理事、茂地工学部長をはじめとする大学関係者や工学部学生など多数が参加して盛大に行われました。



上釜社長(左)と齋藤学長

大学側からは齋藤学長、石井理事、演理事、茂地工学部長をはじめとする大学関係者や工学部学生など多数が参加して盛大に行われました。



看板上掲の様子

### 「被爆三世ザク口の木」を植樹

5月27日、経済学部の卒業生で、自らも被爆者である榊安彦氏(長崎市在住)から寄贈された「被爆三世ザク口の木」が、環境科学部中庭に齋藤学長と榊氏により植樹されました。爆心地から約1.5kmの家野町にあった榊氏の自宅に植えられていたザク口の木は、原爆投下により枯れたかに見えたものの、翌年には大きな花実をつけました。その後、榊氏は現在の自宅に転居される際、このザク口の木を挿し木して二代目を育て、そのザク口の木の種類から育てた三世を本学に寄贈されました。本学では、附属病院歯科系玄関前の被爆したクスノキ、教育学部中庭の被爆柿の木二世に次いで、3つ目の平和を祈念する樹木となります。



植樹する榊氏(右)と齋藤学長

### 高校生、大学生対象の国際シンポジウムを開催

5月26日、中部講堂において、世界規模で猛威をふるうエイズ結核、マラリアの三大感染症問題をテーマに、高校生、大学生を主な対象とした人と健康のための国際シンポジウムを開催しました。当日は、長崎市内及び近郊の高校生約450名その他、本学の学生、教職員合わせて約720名が参加しました。

摺の後、3名の外国人シンポジストから、途上国における現状と問題の克服に向けた国際協力について講演があり、参加者は真剣な表情で聞き入っていました。また、引き続き行われた質疑応答では、高校生や大学生が英語で積極的に質問しました。アンケートの結果では、ほとんどの高校生、大学生が、シンポジウムに参加して、国際保健協力への関心・興味が深まったと答えていました。



質問に答えるシンポジスト



満員の会場で熱心に耳を傾ける高校生



# 京都 也阿弥ホテル

## The Yaami Hotel

[古写真DATA] 長崎大学附属図書館蔵

写真名称：円山也阿弥ホテル<sup>(1)</sup>  
英語名称：Maruyama Yaami Hotel  
目録番号：62  
撮影者：日下部金兵衛  
アルバム名：日下部金兵衛アルバム  
撮影地域：京都  
年代：年代未詳  
色彩：カラー  
形状：263x203  
整理番号：2 13 0  
キーワード：近代建築/眺望

### 古写真に見る

## 近代ホテルの黎明期

2

工学部教授

岡林 隆敏

Okabayashi Takatoshi

明治初期の外国人にとって、京都には日本の都市の中でも天皇が住んでいた聖なる都で、街全体が寺院で埋め尽くされ、神秘に満ちた訪れたい都市であった。京都の最初の外国人用の宿泊施設として「中村楼」が明治初年に開業した。明治10年(1877)、草野大吉が京都に「自由亭ホテル」を進出させた。草野大吉は幕末に、長崎で日本で最初の西洋料理店を開いた人物である。明治2年(1869)、五代友厚(後に大阪商法会議所初代会頭)に請われて、大阪で「自由亭ホテル」を開業し、京都のホテルはその支店であった。

明治12年(1879)、長崎出身のガイドであった井上萬吉が京都丸山公園内に「也阿弥ホテル」を開業した。このホテルは、円山の安養寺の三坊(端ノ寮、連阿弥、也阿弥)を買収し、日本座敷を洋室に改造したもので、室数40、照明は石油ランプ使用、室にはドア

はなく、カーテンにより仕切られていた。写真は明治20年代の「也阿弥ホテル」を撮影したものである。小説「お菊さん」で知られているフランスの小説家のピエール・ロチは、明治18年(1885)、35歳のとき「也阿弥ホテル」で泊まったことを「秋の日本」で記している。「英国風に普請したばかりの真新しい本物のホテルであるらしい」「也阿弥では、食事は大そう正確な英国流ときめられている。ごく小さなパン切れと、真赤な焼肉と、茹でた馬鈴薯……」

井上萬吉の弟喜太郎は、明治28年(1895)、京都の「常盤ホテル」(現・京都ホテルオークラ)を買収した。ここには、明治24年(1891)5月11日大津事件の被害者となつ

た、ロシア皇太子ニコライ2世が宿泊した。ニコライ2世は、戦艦アゾワール号で4月27日に長崎市に寄港したばかりであった。「也阿弥ホテル」は、その後、2度の火災を起こし、明治43年(1910)に廃業し、京都のホテル界で活躍した長崎出身の井上兄弟の時代は終わる。

明治も中期になると、ヨーロッパ航路、北米航路、加奈陀東洋航路が確立され、また東海道線はじめ国内の鉄道網も完備され、日本の近代化は速度を増す。居留地から始まったホテルの建設は、東京・大阪・京都に広がり、さらに、在留外国人の避暑のためのリゾートホテルに向かう。

### 【幕末明治期日本古写真画像データベース】

<http://oldphoto.lib.nagasaki-u.ac.jp>

参考 富田昭次、ホテルと日本近代(青弓社)



## 編集後記

教育分野における国際貢献として、今年の4月に開設された「国際健康開発研究科」を特集いたしました。途上国における様々な健康問題の解決に向けて、現場で活躍できる「公衆衛生学修士」を育成したいへんユニークな大学院です。

同じ医療関係でも、別の切り口から、長崎県医師会常任理事の草場泰之先生に「いたか放題」をご執筆いただきました。医療現場の切実な問題を指摘しつつ、医師としてのあるべき姿、医師をめざす若者の志について、篤き情熱をもって語っておられます。受験生の皆様へのエールでもあります。是非、ご一読ください。

「長崎の安全と安心」シリーズは、今回で最後となりました。これからの季節、台風のみならず竜巻が発生する可能性も高くなるようです。災害に対する意識を高めつつ、防災対策にお役立ていただければ幸いです。  
(原田 哲夫)

[編集・発行]

長崎大学広報企画委員会  
(広報誌企画・編集専門部会)

[部会長]-----  
原田 哲夫 (工学部教授)

[委員]-----  
堀内 伊吹 (教育学部教授)  
吉田 高文 (経済学部准教授)  
高橋 和雄 (工学部教授)  
池田 幸恵 (環境科学部准教授)  
小林 信之 (医歯薬学総合研究科教授)  
堀尾 政博 (熱帯医学研究所教授)  
佐々木 均 (医学部・歯学部附属病院教授)  
光石 恭典 (総務部総務課長)

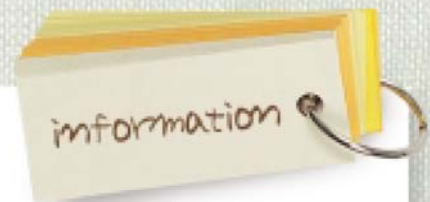
TEL. 095-819-2018

FAX. 095-819-2024

(E-mail)

www\_admin@ml.nagasaki-u.ac.jp

[発行日]2008年7月1日



7/19・20  
(SAT) (SUN)

## 長崎大学オープンキャンパス

長崎大学オープンキャンパスを平成20年7月19日(土)と20日(日)に開催します。

下記 URL から申込書をダウンロードのうえ、申込みをしてください。なお、携帯サイト (<http://daigaku-jc.jp/nagasaki-u/>) から直接申込みもできます。

詳細な内容についてはホームページで確認してください。

URL <http://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/nyushi/homon/open.htm>

7月19日(土)

### ■文教キャンパス

学 部 名	時 間	受入定員	説 明 会 会 場
教育学部	9:30~13:00 13:30~17:00	300人 700人	教育学部11番教室及び各教室等 中部講堂及び各教室等
薬学部	13:00~17:10	300人	全学教育棟201番教室及び各研究室
工学部	9:20~17:00	700人	中部講堂及び各学科研究室・実験室
環境科学部	13:00~16:30	250人	全学教育棟102番教室及び各研究室等
水産学部 (事前申込み必須)	13:00~17:00	100人	水産学部4階大講義室及び各研究室
学長特別講義	11:30~12:30	700人 (当日先着順)	中部講堂『『游学のまち長崎』と長崎大学』

### ■片淵キャンパス

学 部 名	時 間	受入定員	説 明 会 会 場
経済学部	13:00~16:00	799人	経済学部講堂及び本館121講義室

### ■坂本キャンパス

学 部 名	時 間	受入定員	説 明 会 会 場
医学部医学科	14:00~16:30	400人	医学部記念講堂
医学部保健学科	10:30~16:30	制限なし	医学部保健学科講義室及び実習室
歯学部	14:00~16:30	100人	歯学部第1講義室(C棟5階)及び実習室、技工室

7月20日(日)

### ■文教キャンパス

学 部 名	時 間	受入定員	説 明 会 会 場
薬学部	13:00~15:10	100人	薬学部多目的ホール及び各研究室
工学部	13:00~16:30	100人	総合教育研究棟208番講義室及び2階多目的ホール
環境科学部	13:00~16:30	250人	全学教育棟102番教室及び各研究室等

問い合わせ先 長崎大学学生支援部入試課 TEL:095-819-2111

7/19  
(SAT)

## 九州地区国立大学進学説明会

九州・山口地区の国立大学の担当者が長崎大学において、それぞれの大学の説明や資料配付など、入学希望者への情報提供を行います。

日 時 7月19日(土)10:00~16:00

場 所 長崎大学文教キャンパス学生プラザ1階多目的ホール

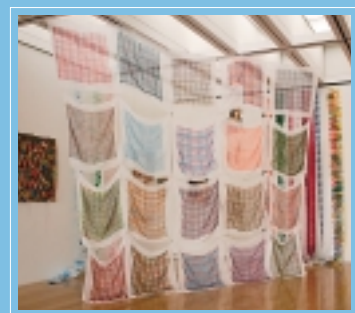
URL <http://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/nyushi/homon/kyusin.html>

表紙  
について

「色と呼吸のあいだで」

大学院教育学研究科 教科実践専攻  
芸術と文化活動の教育コース  
芸術専修免許プログラム 絵画1年  
小栗栖まり子

この作品群は長崎県美術館で発表したもので、表紙はその一部をクローズアップしたものです。ガーゼに矩形のスタンプで押しながら色を配置し、絵画の基底材に絵肌を表現しました。ガーゼは医療にも役立っていますが、絵を描く上でも材料として大切な要素なのです。なおスタンプで繰り返し押す行為は、人間が生きる「生」の痕跡を表現することへとつながっています。



読者の皆様のご意見・ご要望をもとに、より充実したCHOHOを目指します。  
大変お手数ですが以下のアンケートにお答え下さい。  
ご回答はFAX(095-819-2024)でお願いします。  
なお、E-mail(www\_admin@ml.nagasaki-u.ac.jp)でも受け付けております。

[年齢] 歳 [性別] 男・女

1 今回よかったコーナーに✓をつけて下さい。(複数回答可)

- |   |  |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 【特集】大学院国際健康開発研究科 2008年4月新設           | <input type="checkbox"/> 【長大ニュース】                      |
| <input type="checkbox"/> 【留学生のキャンパスライフ】蔡 君柔さん(シンガポール)         | <input type="checkbox"/> 【古写真に見る近代ホテルの黎明期(2)】京都 也阿弥ホテル |
| <input type="checkbox"/> 【We Love Circle】「わかかもんASIA 舞蹈祭」実行委員会 | <input type="checkbox"/> 【インフォメーション】・【編集後記】            |
| <input type="checkbox"/> 【いたか放題】長崎県医師会常任理事 草場 泰之さん            |  |
| <input type="checkbox"/> 【～安全・安心・快適を求めて～変わるキャンパス】改修編・新築編      |  |
| <input type="checkbox"/> 【自然災害を考える】長崎の安全と安心～台風・高潮・竜巻～         |  |

2 今回の内容はどうか? ✓をつけて下さい。

- やさしい ふつう 少しむずかしい むずかしい わからない / おもしろい ふつう つまらない

◎ご意見・ご感想をお書き下さい。.....

3 今後読んでみたいテーマなどありましたらご記入下さい。

ご自由にお書き下さい。

4 CHOHO をどこでご覧になりましたか?

5 その他、大学に対するご意見・ご要望がありましたらお聞かせ下さい。

ご自由にお書き下さい。

ご協力ありがとうございました。

長崎大学広報企画委員会(広報誌企画・編集専門部会)  
〒852-8521 長崎市文教町1番14号 TEL095-819-2018  
(E-mail)www\_admin@ml.nagasaki-u.ac.jp